

2021年度東京工芸大学工学部入試について（予告その2）

東京工芸大学工学部では、2021年度入試（2021年4月入学予定）について、2018年12月に予告を公表したしたところですが、このたび予告内容の詳細について、次のとおり更新いたします。

なお、この予告は現時点でのものであり、今後さらなる変更があった場合や内容の詳細については、決まりしだい本学ホームページ等で更新しお知らせする予定です。

1. 「総合型選抜」について

- 従来のAO入試（高大接続重視型）をもとに、「総合型選抜」を実施します。
- 9月・10月（合格発表は11月）、12月（合格発表は12月）の3回実施予定です。
- 「面接（口頭試問を含む）」、「志望理由書」、「調査書」、「学習・活動成果報告書」または「課題レポート」で選考します。
- 総合型選抜では、プレガイダンスに必ず出席したうえで、事前審査に通過した場合のみ出願が可能となります。
- 事前審査では、「志望理由書」、「調査書」、「学習・活動成果報告書」または「課題レポート」を提出してもらい審査を実施します。事前審査で提出する書類の詳細については、プレガイダンスで説明します。
- 入試日には、「面接（口頭試問を含む）」を実施します。
- プレガイダンスについては、2020年6月以降複数回実施予定です。

2. 「学校推薦型選抜」について

1) 学校推薦型選抜（指定校・協定校）について

- 11月（合格発表は12月）に実施予定です。
- 「面接」、「特別推薦書」および「調査書」で選考します。
- 入試日には、「学習状況調査」および「グループ面接」を実施します。
- 認定基準等については、該当する高等学校に2020年6月初旬に通知する予定です。

2) 学校推薦型選抜（公募制）について

- 12月（合格発表は12月）に実施予定です。
- 「面接（口頭試問を含む）」、「推薦書」および「調査書」、「志望理由」および「学習状況調査」で選考します。
- 出願時（インターネット）に志望理由を入力して提出してもらいます。
- 入試日には、「学習状況調査」および「面接（口頭試問を含む）」を実施します。
- 志望するコースで指定する資格（英語参加試験^{※1}を含む）の取得等が証明される場合、「調査書」および「推薦書」の加点対象とします。

3. 「一般選抜」について

1) 全学スカラシップ選抜について

- これまでの全学統一入試に代わり実施します。
- 理科（物理または化学）、数学、英語、国語の4教科のうち上位2教科で選考します（解答はすべてマークシート方式です）。
- 本学厚木キャンパス・中野キャンパスのほか、全国複数の試験場で実施予定です。

2) 一般選抜Ⅰ期について

- これまでの一般入試Ⅰ期に代わり実施します。
- 理科（物理または化学）、数学、英語、国語の4教科のうち上位3教科で選考します（解答はすべてマークシート方式です）。
- 本学厚木キャンパスのほか、複数の試験場（関東地区）で実施予定です。

3) 一般選抜Ⅱ期について

- これまでの一般入試Ⅱ期に代わり実施します。
- 理科（物理または化学）、数学、英語の4教科のうち上位2教科で選考します（解答はすべてマークシート方式です）。
- 英語参加試験^{*1}の成績提出をもって、英語の試験に代えることができます（英語参加試験の成績の取り扱いの詳細については、後日発表します）。
- 本学厚木キャンパスのほか、他の試験場（関東地区）で実施予定です。

4) 一般選抜Ⅲ期について

- これまでの一般入試Ⅲ期に代わり実施します。
- A方式は理科（物理・化学）、B方式は数学、C方式は理科（物理・化学）および数学の2教科で選考します（解答はすべて記述式です）。
- 本学厚木キャンパスのほか、他の試験場（関東地区）で実施予定です。

5) 共通テスト利用選抜について

- これまでのセンター試験利用入試に代わり実施します。
- 大学入学共通テスト^{*2}の外国語・数学・理科・国語のうち、指定する科目の組み合わせの上位2科目で選考します（国語の記述式大問は利用しません）。
- 英語参加試験^{*1}の成績提出をもって、大学入学共通テスト^{*2}の外国語の成績に代えることができます（英語参加試験の成績の取り扱いの詳細については、後日発表します）。

4. その他

1) 工学部で必要な3つの特性の各種選抜における確認方法について

工学部では、入学後に求められる様々な知識・技能や能力を円滑に学修できるよう、①いずれかのコースにおける専門分野の知識や技術を学ぶために必要な基礎的・基本的な知識・技能、②工学と感性を融合した新しい分野創成に必要な創造性と実践力を身に付けるために必要な思考力・判断力・表現力、③専門分野・工学分野の知識・技術を活かすための健全な倫理観や意欲・使命感を身に付けるために必要な主体性及び多様な人々と協働できる力、といった3つの特性を身に付けている人を受け入れます。この3つの特性を入学時に全員がバランス良く備えている必要はありませんが、各種選抜では、出願資格・要件を満たした志願者のこれら3つの特性が一定の水準にあるかどうかを、選考方法に応じて確認します。

- 総合型選抜では「志望理由書」「調査書」「課題レポートまたは学習・活動成果報告」「面接（口頭試問を含む）」で、それぞれ上記の①②③を確認します。
- 学校推薦型選抜のうち、公募制推薦では「推薦書および調査書」「志望理由及び学習状況調査」「面接（口頭試問を含む）」で、指定校推薦・協定校推薦では「特別推薦書」「調査書」「面接」で上記の①②③を確認します。
- 一般選抜（共通テスト利用選抜を含む）では、「学力試験（英語参加試験※¹の成績または大学入学共通テスト※²の得点を含む）」で上記の①②を確認し、必要に応じて「志望理由」「調査書」で上記の②③を確認します。

2)「JAPAN e-Portfolio」についての選抜方式でも利用しません。

以上

- ※1 大学入学者選抜における英語4技能（聞く・読む・話す・書く）の評価を大学入学共通テストの枠組みで行うために、独立行政法人大学入試センターが運営する「大学入試英語成績提供システム」への参加が認められた、英語に関する資格・検定試験のことです。
- ※2 大学入学者選抜改革の一環として、大学入試センター試験に代わり、令和2年度から独立行政法人大学入試センターが実施する試験のことです。

（本件に関する問い合わせ先）工学部入試課